

同 飛地 郡界
 此 郡界 引者 郡境
 但 郡境 道川 等有 引所 引者 郡界

発見! 探検! 射水の道

熊野往来



熊野往来

越中浜往来

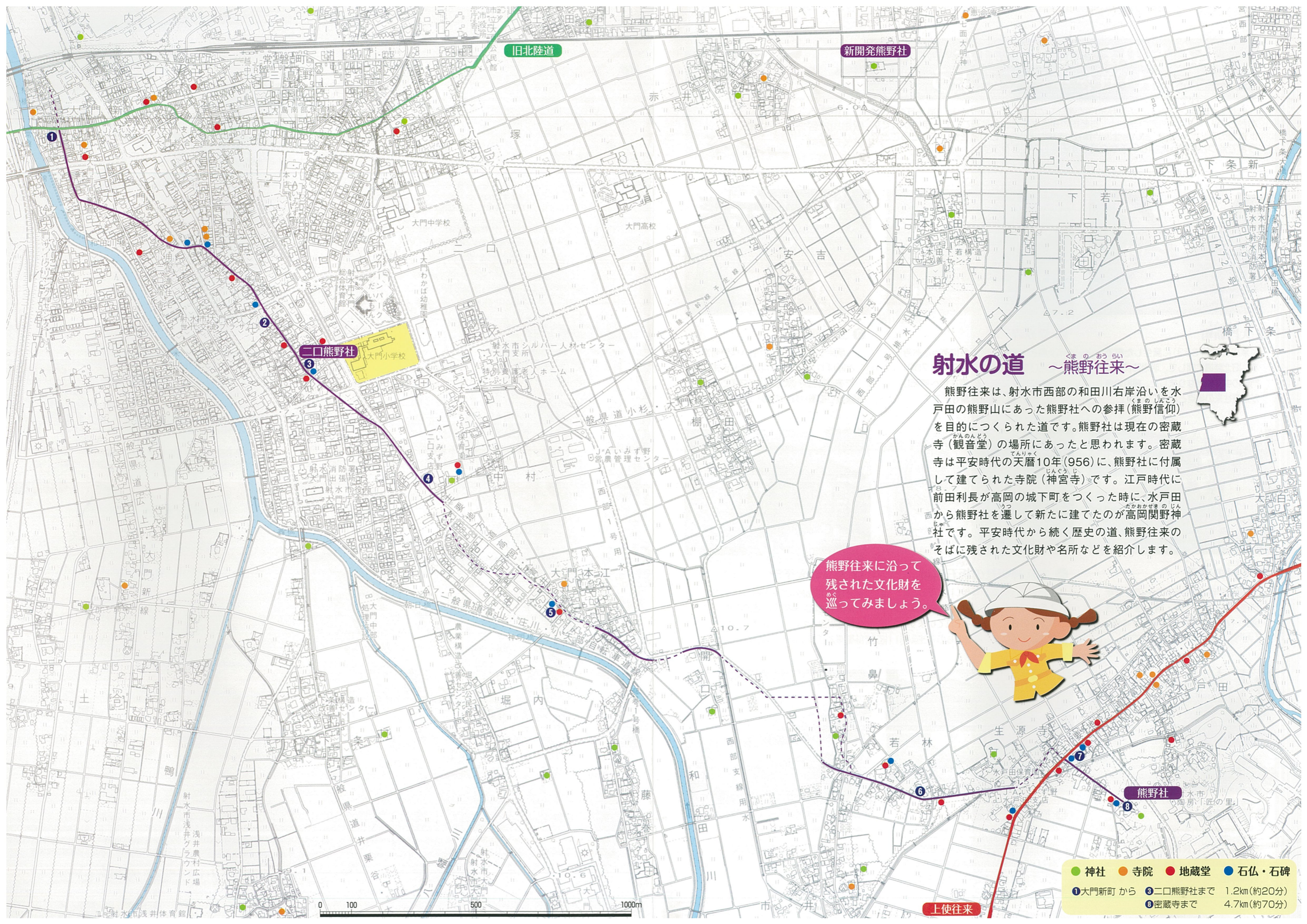
旧北陸道

海軍

江戸時代の射水の道を描いた「射水部分間絵図」
 国指定重要文化財「石黒信由関係資料」
 (一財)高樹会所蔵 射水市新湊博物館保管

文政二年癸未九月

分月見圖人



旧北陸道

新開発熊野社

二口熊野社

射水の道 くまのおうらい ～熊野往来～

熊野往来は、射水市西部の和田川右岸沿いを水戸田の熊野山にあった熊野社への参拝(熊野信仰)を目的につくられた道です。熊野社は現在の密蔵寺(観音堂)の場所にあったと思われます。密蔵寺は平安時代の天暦10年(956)に、熊野社に付属して建てられた寺院(神宮寺)です。江戸時代に前田利長が高岡の城下町をつくった時に、水戸田から熊野社を遷して新たに建てたのが高岡関野神社です。平安時代から続く歴史の道、熊野往来のそばに残された文化財や名所などを紹介します。

熊野往来に沿って残された文化財を巡ってみましょう。



熊野社

上使往来

- 神社 ● 寺院 ● 地蔵堂 ● 石仏・石碑
- ① 大門新町 から ③ 二口熊野社まで 1.2km(約20分)
- ③ 二口熊野社から ⑤ 密蔵寺まで 4.7km(約70分)

私たちのまちに残された 古い道を歩いてみよう！



むかしの道は、ほとんどの人が歩いて通行していました。そのため、道を行きかたむかしの人が残した故郷の歴史は、自動車で通過するとつい見過ごしてしまいがちです。道端の石仏や地藏堂、古い街並みや神社・寺院など、むかしの道を歩いてたどることで、今まで気づかなかったいろいろな発見をする楽しみがあります。



① だいもんじんまち 大門新町

承応2年(1653)に誕生した町です。旧北陸道に面して、明治時代は大門町の中心地となりました。横町の角が熊野往來の始点とされています。



② せいこうじ 誓光寺

もとは浅井地区下条にあったお寺で、江戸時代の元禄(1688~1703)年中に火災にあって、現在地へ移転しています。浄土真宗本願寺派です。



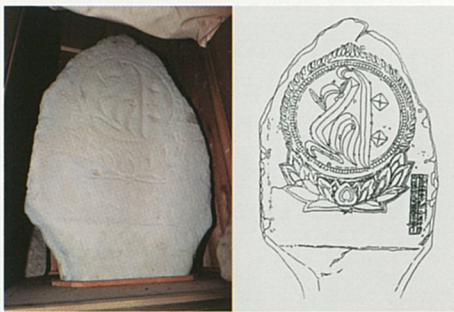
③ ふたくちくまのしや 二口熊野社

明治5年(1872)以前は熊野新宮と呼ばれています。境内に大正末まであったお寺(大乘院)が伝えてきた火渡り神事は9月の第1土曜日です。



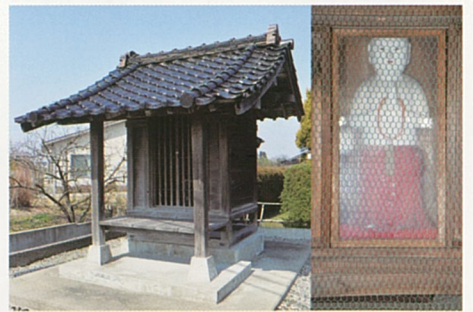
④ なかもら どうひょう 中村の道標

昭和初年に立てられたものを近年改修しています。東・南・西・北各面に「小杉」「水戸田」「櫛田 中田」「大門」と刻まれた交通資料です。



⑤ ほんこうしんめいしや いたいしとうば 本江神明社の板石塔婆

鎌倉時代の文永4年(1267)に故人の供養のために造られたものが、今は村の鎮守として移されています。現在、北陸地方で最古のものです。



⑥ わかばやし たいしどう 若林の太子堂

建物は明治43年(1910)に八幡宮に合祀された神明宮の社殿です。室内には明治44年11月寄進の銘がある、聖徳太子二歳像が安置されています。



⑦ いなりじんじや 稲荷神社

水戸田集落の北方、字惣分地内から遷ってきて、拝殿の造営は寛政6年(1794)です。稲荷宮→稲荷社→稲荷神社と社名が変わっています。



⑧ くまのしや みつぞうじ 熊野社と密蔵寺

熊野往來の終点となる熊野山に、平安時代、熊野社が建てられます。天曆10年(956)からは真言宗のお寺として密蔵寺も建てられています。

お問い合わせ



射水市教育委員会 生涯学習・スポーツ課

射水市加茂中部893 (射水市役所下庁舎内)
☎59-8092
bunkazai@city.imizu.lg.jp